

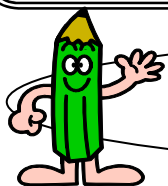


カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成23年4月 NO1
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)



**教育研究所は、今年も確かな研究・実践に取り組み、
子どもや家庭、先生を応援します！**

新しい学年がはじまり、新1年生もそろって、元気いっぱい勉強する子どもたちの姿が見られるようになりました。門川町教育研究所では、今年も確かな研究・実践に取り組み、その成果を家庭や地域、学校に情報発信していきたいと思います。今月は、門川町が今年力を入れる「最重点教育施策」と、学力向上には欠くことのできない、生活習慣、学習習慣を育てるための工夫について紹介したいと思います。

門川町 最重点教育施策

生きる力をはぐくむ「確かな学力向上」の推進 ～基本的な生活習慣・学習習慣の確立～

将来の夢や希望

生きる力

確かな学力

豊かな心

健康・体力

子どもたちが、将来に夢や希望をもって、たくましく生き抜くために必要な力が、「生きる力」です。

「確かな学力」は、「生きる力」の知的な面を表わしています。高校や専門学校、大学などへ進学したり、就職したりするためには、試験や検査などに合格しなければなりません。そこで求められるのが、「確かな学力」です。

3つの力が一つになって、
生きる力になるんだよ！
この生きる力が、将来に
向かって進む力になるんだ！



子どもたちの将来の夢や希望を実現するためには、「確かな学力」が必要です。「確かな学力」は、将来をきりひろく力になります。門川町では、学校や関係組織が一体となって、家庭や地域と力を合わせて、「確かな学力」の向上に取り組んでいきます。

確かな学力

学ぶ意欲

知識や技能

考える力や
判断力など

家族のふれあいやささえなど

**「確かな学力」は、毎日の生活の中での
家族のふれあいやささえ、見守り、声か
けなどから育ちます。**



学ぶ意欲

もっと知りたい
できるようになり
たい、という気持
を育てることが
大切です。

知識や技能

繰り返し練習し
て鍛えることで、
習熟すること（や
りなれること）が
大切です。

考える力や判断力

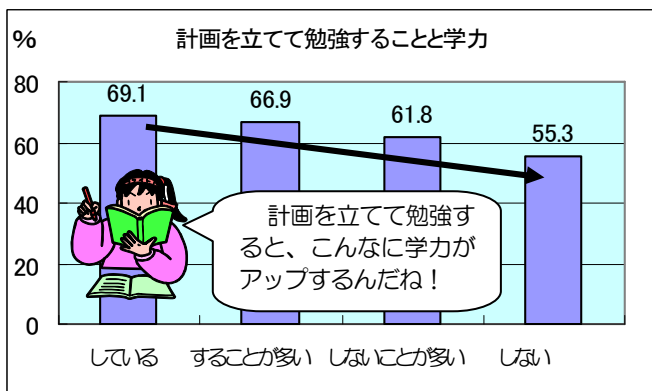
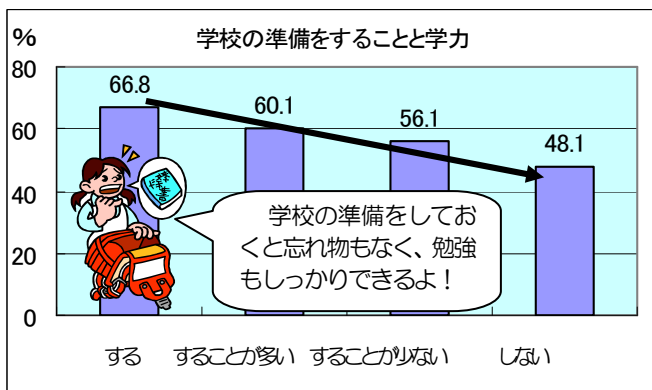
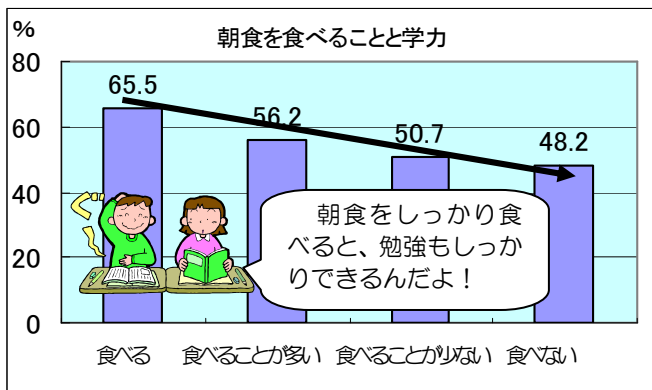
自分で考えさせ
たり、決めさせた
り、自分の言葉で
言わせるなどの指
導が大切です。

門川町の子どもの学力向上をめざして！

(門川町教育研究所は、学力向上のための情報発信や提言を行っています。)

平成22年度全国学力・学習
状況調査から(全国中学3年)

1 学期は、まず、生活習慣や学習習慣を育てることが、学力向上のポイントです！



昨年行われた、全国学力調査(全国の中学3年生の結果)をもとに、①毎日朝食を食べる、②学校の準備する、③計画を立てて勉強する、といった、主な生活・学習習慣と学力の関係を調べてみました。

朝食では、いつも食べる生徒と、食べない生徒では、学力調査の正答率で17.3%の差があることがわかりました。学校の準備をすることでは、18.7%の差、計画を立てて勉強することでは、13.8%の差が見られました。

このような結果からも、生活・学習習慣と学力が深く関係していることがわかります。新学年が始まったばかりの1学期は、生活・学習習慣をしっかり育てましょう。

教育研究所からのアドバイス

生活・学習習慣は、学力を育てるもとになるもので、見えない学力ということが出来ます。家族で力を合わせて、習慣づくりに取り組みましょう。

習慣づくり3つのポイント

- ポイント1 自分の目標を立てましょう。
- ポイント2 毎日続けることを大切にしましょう。
- ポイント3 家庭の約束をつくりましょう。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)

63-1566

~~~返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。)~~~